

# 令和5年度 芳賀町立芳賀中学校 学校評価書

## 学校評価のねらい

すべての教育活動その他の学校運営が効果的に実施できているかどうか、保護者、学校、地域住民(学校評議委員=学校関係者評価委員)等が連携し、評価する。それらを通して、生徒がよりよい教育活動を受けられることをめざし、学校をよりよくするための方策を明らかにする。

## 1 校訓・教育目標・目指す生徒像

| 校訓 | 教育目標               | 目指す生徒像  |
|----|--------------------|---|
| 創造 | 自ら学ぶ生徒 (創造)        | ・自分の考えを、自信をもって発表できる生徒<br>・自ら課題を見つけ、周囲と協力して解決できる生徒         |
| 敬愛 | 心豊かな生徒 (敬愛)        | ・心をこめてあいさつし、協働できる生徒<br>・清掃活動に一生懸命に取り組める生徒                 |
| 実践 | たくましい生徒 (実践)       | ・夢や目標に向かって力強く努力する生徒<br>・「早寝・早起き・朝ご飯」を着実に実践できる生徒           |
|    | ふるさとを愛する生徒 (本校の使命) | ・ボランティア・奉仕活動、地域活動等に積極的に参加できる生徒<br>・運動・文化芸術活動等に意欲的に取り組める生徒 |

## 2 目指す学校像

|  |
|--|
| すべての生徒と教職員が<br>夢を育み 知を磨き(創造) 心豊かに(敬愛) 汗を流して(実践) 高め合う学校 |
|--|

## 3 学校経営の方針

|   |
|---|
| 基本経営理念：「芳賀町に誇りをもち 明日の芳賀町を担う生徒の育成」 ～誇れる、つよい学校・生徒づくり～ |
| 1 生涯学習社会に生きる生徒の育成                                   |
| 2 望ましい生活習慣と社会性の育成                                   |
| 3 確かな学力の保証  |
| 4 豊かな心をもつ生徒の育成                                      |
| 5 健やかな体をもつ生徒の育成                                     |
| 6 全職員による学校経営参画 (チーム学校の実践)                           |
| 7 家庭や地域、関係機関との協働による学校経営 (チーム学校の実践)                  |

## 4 本年度の指導視座と重点項目

|  |
|--|
| 視座：10年後の勝負に勝てる生徒を育成  |
| 重点項目：人間力の基礎・基盤をつくる…思いやりの心と確固たる生活習慣<br>→明日の、10年後の自分のために「時を守り 場を清め 礼を正す」 |

## 5 本年度の重点目標・努力点

|                                       |                              |                   |
|---------------------------------------|------------------------------|-------------------|
| 1 確かな学力を身に付けた生徒の育成                    | プロジェクト知                      |                   |
| ①学習形態を工夫、習熟度学習、ICTの活用                 | ②話をつなぐ教師の指導スキルの向上            |                   |
| ③魅力ある教材の収集                            | ④教科部会での授業研究等の充実              |                   |
| 2 豊かな心をもつ生徒の育成                        | プロジェクト徳                      |                   |
| ①有効な補助教材の共有化                          | ②道徳的実践力に結びつくよう指導             | ③学校行事を通して生徒が感動を共有 |
| ④「3つのルール」の徹底。(時間いっぱい、無駄話せず全力で、身支度整える) |                              |                   |
| 3 健やかな体をもつ生徒の育成                       | プロジェクト体                      |                   |
| ①電子機器の使い方の指導                          | ②担任と栄養教諭や養護教諭と連携した食に関する指導の工夫 |                   |
| ③生徒の様子をよく観察しながら主担当と副担当が連携した部活動を充実     |                              |                   |
| 4 夢や目標に向かって力強く自己実現を図っていく生徒の育成         | プロジェクト生き方                    |                   |
| ①「居がいのある学級」作りなど学業指導の充実、生活の基盤づくり       | ②町等と連携したボランティア活動の充実          |                   |
| ③未然防止策や教育相談を充実し、情報の共有化と初期対応の体制強化      |                              |                   |
| ④系統立てた進路指導の充実                         |                              |                   |

## 6 本年度の学校課題

|   |
|---|
| 10年後の社会を担う生徒の育成<br>～「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を高める教育～ |
|---|

7 自己評価表

○:目標指数より+3%以上 ×:-3%以下 △:+3%~ -3%

| 項目                                     | 評価項目<br>【目標指数(A+Bの肯定的回答)】                                   | 主な具体的な取組   | 評価A+Bの肯定的回答<br>【次年度の具体策】   |
|--|---|--|--|
| プロジェクト<br>知                            | 1 生徒の学力の向上<br>生徒 私は授業の内容がよくわかる。                             | 【本年度の具体策】<br>・学び合いの学習を推進する。<br>・ICTの活用。<br><br>等   | 【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】<br>生徒 81.8% × 85.4%<br>保護者 81.8% △ 79.6%<br>教師 100.0% ○ 100.0%<br>今年度も、「学び合い」の研究を継続し、研究授業や授業研究会を実施した。今後も「個別最適な学び」に繋がる授業改善を進めるために、指導主事の指導を仰ぎながら、教科部会で情報の共有や指導法の意見交換などで指導力を向上させ、生徒の学力向上を推進していきたい。<br><br>【次年度の具体策】<br>・個別最適な学びを推進する。<br>・ICTの活用。 |
|  | 保護者 学校は子どもの学力の向上を図っている。                                     |  |  |
|  | 教職員 教職員は、生徒の学力の向上を図っている。                                    |  |  |
|  | 【目標指数】<br>生徒 85%<br>保護者 80%<br>教師 90%                       |  |  |
|  | 2 コミュニケーション力<br>生徒 私は自分の考えを伝えることができる。                       |  |  |
| 保護者 学校は子どもの発表力の向上を図っている。               |   |  |  |
| 教職員 教職員は、生徒の発表力・コミュニケーション力の向上を図っている。   |   |  |  |
| 【目標指数】<br>生徒 55%<br>保護者 75%<br>教師 90%  |   |  |  |
| 3 学習意欲の向上<br>生徒 私は授業に一生懸命に取り組んでいる。     | 【本年度の具体策】<br>・導入の工夫<br>・小テストなどでクラス対抗で競わせるなどの工夫をする。<br><br>等 | 【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】<br>生徒 90.8% ○ 91.3%<br>保護者 77.2% △ 71.6%<br>教師 96.9% ○ 100.0%<br>分かりやすい授業や分かって楽しい授業の展開を心がけ、生徒のつぶやきからめあてを作り、授業の終わりに振り返りをし、学習内容を確認している。今後も生徒とともによりよい授業を展開するため授業改善を継続していきたい。<br><br>【次年度の具体策】<br>・導入の工夫。<br>・小テストで競わせる。   |  |
| 保護者 学校は子どもの学習意欲の向上を図っている。              |   |  |  |
| 教職員 教職員は、生徒の学習意欲の向上を図っている。             |   |  |  |
| 【目標指数】<br>生徒 85%<br>保護者 80%<br>教師 90%  |   |  |  |
| 4 家庭学習<br>生徒 私は家庭学習の仕方・習慣が身に付いている。     |   |  | 【本年度の具体策】<br>・学習のしおりの活用<br>・タブレットの有効活用<br>・家庭学習のルールの一<br><br>等   |
| 保護者 学校は子どもの家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図ったりしている。 |   |  |  |
| 教職員 教職員は、生徒の家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図っている。   |   |  |  |
| 【目標指数】<br>生徒 75%<br>保護者 75%<br>教師 90%  |   |  |  |
| 5 授業力の向上<br>生徒 私は授業が楽しく、わかりやすいと感じている。  | 【本年度の具体策】<br>・教師の学び合いのスキルの向上を図る。<br><br>等                   | 【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】<br>生徒 77.4% △ 77.6%<br>保護者 77.2% △ 71.8%<br>教師 100.0% ○ 97.2%<br>「学び合い」の研究を通して、教科部会で、生徒同士が意見交換をしたり発表したりする時間の設定、めあての設定、振り返りなど授業の進め方を工夫・研究してきた。また、ICT機器も積極的に活用してきた。今後は、「個別最適な学び」の実戦に向け授業展開の工夫・改善に努め、生徒が主体的に取り組める授業を展開し、生徒の学力向上につなげたいと考えている。<br><br>【次年度の具体策】<br>・個別最適な学びについて、理解を深める。 |  |
| 保護者 学校は、子どもに楽しく、わかりやすい授業を提供している。       |   |  |  |
| 教職員 教職員は、生徒にとって楽しく、わかりやすい授業を展開している。    |   |  |  |
| 【目標指数】<br>生徒 80%<br>保護者 75%<br>教師 90%  |   |  |  |

|             |  |  |   |
|-------------|--|--|---|
| プロジェクト<br>徳 | <b>6 道徳の授業</b><br><b>生徒</b> 私は道徳の時間に、テーマについて一生懸命考えている。<br><b>保護者</b> 学校は様々なテーマに沿った道徳の授業を展開している。<br><b>教職員</b> 教職員は、年計に沿って道徳の授業を進めている。  | <b>【本年度の具体策】</b><br>・年計に沿って計画的に授業を進める。<br>・「道徳コーナー」を充実させる。   | <b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b><br>生徒 86.1% × 87.1%<br>保護者 78.5% △ 73.4%<br>教師 77.4% × 93.8%<br>担任同士が情報交換し道徳の授業改善に努めた。今後、更にテーマを捉え、考える場面を設定していきたい。毎月、学年だよりに道徳で取り扱うテーマや題材名などを掲載したり、道徳通信を10月に発行したりしたが、まだ情報発信が十分とはいえないので、更に発信できるようにしたい。  |
|             | <b>【目標指数】</b><br>生徒 90%<br>保護者 80%<br>教師 90%   | 等  | <b>【次年度の具体策】</b><br>・年計に沿って計画的に授業を進める。<br>・各学年内で、有効な補助教材の共有化を図る。  |
|             | <b>7 道徳的実践力</b><br><b>生徒</b> 私は道徳の時間に考えたことを実践しようとしている。<br><b>保護者</b> 子どもは進んでよいことをしようとする心が育っている。<br><b>教職員</b> 教職員は、道徳の授業の中で道徳的実践力に結びつくよう指導している。  | <b>【本年度の具体策】</b><br>・振り返りを充実させ、題材と自分との関わりを捉えられるようにする。  | <b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b><br>生徒 72.6% △ 63.6%<br>保護者 81.1% △ 86.2%<br>教師 81.3% × 93.9%<br>道徳教育の目標は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。そこで、家庭と学校とで話題を共有し教育効果を高めようと考え、道徳のテーマや題材を学年だよりに掲載し、道徳通信を発行したり保護者会での啓発を行った。道徳の授業を日常につなげるように、日頃から道徳的な話題を生徒に提供し、道徳的実践力と態度を育てていきたい。生徒が自らの成長を実感できるよう工夫を継続したい。              |
|             | <b>【目標指数】</b><br>生徒 70%<br>保護者 80%<br>教師 90%   | 等  | <b>【次年度の具体策】</b><br>・振り返りを充実させ、題材と自分との関わりを捉えられるようにする。   |
|             | <b>8 学校行事</b><br><b>生徒</b> 私は学校行事に積極的に取り組み、感動を共にし、充実感が味わえた。<br><b>保護者</b> 学校は学校行事を通して、子どもが感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。<br><b>教職員</b> 教職員は、学校行事を通して、生徒が感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。                         | <b>【本年度の具体策】</b><br>・行事を積極的に行い、保護者の参観を可能な限りできるようにする。   | <b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b><br>生徒 88.8% △ 88.5%<br>保護者 95.0% ○ 93.1%<br>教師 96.9% ○ 97.3%<br>体育祭は半日、文化発表会は1日で実施し、クラスの団結や達成する喜びなどを感じられるよう工夫を重ねたことで、生徒は学校行事に対し意欲的に参加できた。また、体育祭、文化発表会ともに保護者観覧の制限をなくし、観覧をすることができ、保護者から好評を得ることができた。宿泊的行事も保護者のご理解・ご協力のもと、通常通り2泊3日で実施できた。                                    |
|             | <b>【目標指数】</b><br>生徒 90%<br>保護者 90%<br>教師 90%   | 等  | <b>【次年度の具体策】</b><br>・行事を通して、生徒・保護者・教職員が感動を共有し、充実感が味わえるようにする。  |
|             | <b>9 清掃活動</b><br><b>生徒</b> 私は清掃活動に一生懸命取り組んでいる。<br><b>保護者</b> 子どもは清掃活動に一所懸命取り組んでいる。<br><b>教職員</b> 教職員は、清掃活動において、「3つのルール」を徹底させている。   | <b>【本年度の具体策】</b><br>・教室での整頓のルールをつくる。<br>・ペーパーレス化を進める。  | <b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b><br>生徒 93.5% ○ 93.3%<br>保護者 81.1% ○ 60.3%<br>教師 78.1% × 86.8%<br>教師は生徒と共に清掃活動に取り組み、生徒指標の一つである「場を清め」の実践を積極的に図り、「身支度を整え、本気の15分、無駄話をしない」の『3つのルール』を定着させながら勤労意欲や愛校心を高めている。また、お掃除応援隊の指導ももらい、清掃の仕方や意識の指導もしてもらっている。   |
|             | <b>【目標指数】</b><br>生徒 90%<br>保護者 70%<br>教師 90%   | 等  | <b>【次年度の具体策】</b><br>・清掃のルールや役割分担を明確にし、いつでも確認できるようにする。   |
|             | <b>10 生活習慣</b><br><b>生徒</b> 私は「早寝・早起き」(23時就寝、6時30分起床)を実践している。(習いごとのない日)<br><b>保護者</b> 子どもは「早寝・早起き」(23時就寝、6時30分起床)を実践している。(習いごとのない日)<br><b>教職員</b> 教職員は、「早寝・早起き」(23時就寝、6時30分起床)を指導している。(習いごとのない日) | <b>【本年度の具体策】</b><br>・「早寝早起き」(23時就寝、6時30分起床) (習い事が無い日)<br>・実践できない生徒が固定化されているので、実態を把握し働きかける。<br>・電子機器の使い方の指導を継続する。 | <b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b><br>生徒 72.6% △ 61.6%<br>保護者 76.8% ○ 62.4%<br>教師 96.9% ○ 97.2%<br>今年度は、昨年度の評価を受け、項目の「23時前就寝」の前をとり、「習いごとのない日」との文言を付け足した。その結果、評価は昨年度よりも向上した。中学生の発達段階を考えると体と記憶の関係から8～9時間の睡眠が必要である。体の発達、脳の発達それぞれに早寝早起きが重要である。寝る前のICT機器の利用を控えて質の高い睡眠となるよう学校と家庭が連携し、規則正しい生活習慣を確立できるように働きかけていきたい。 |
|             | <b>【目標指数】</b><br>生徒 70%<br>保護者 70%<br>教師 90%   | 等  | <b>【次年度の具体策】</b><br>・「早寝早起き」(23時就寝、6時30分起床) (習い事が無い日)<br>・実践できない生徒が固定化されているので、実態を把握し働きかける。<br>・電子機器の使い方の指導を継続する。<br>・保護者への啓発。   |

|  |   |   |        |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
|--|---|---|--------|-------|---|-------|-----|-------|---|-------|----|--------|---|--------|
| <p><b>11 生活習慣(朝食)</b></p> <p><b>生徒</b> 私は朝食を毎日食べている。</p> <p><b>保護者</b> 子どもは朝食を毎日食べている。</p> <p><b>教職員</b> 教職員は、生徒が朝食を毎日食べるよう指導している。</p> <p><b>【目標指数】</b><br/>           生徒 95%<br/>           保護者 95%<br/>           教師 95%</p>   | <p><b>【本年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き声かけをする。</li> <li>・早起きを心掛けさせる。</li> <li>・一口でも朝食を食べるように声掛けする。</li> <li>・習慣作りをする。</li> </ul> <p style="text-align: center;">等</p>                        | <p><b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b></p> <table border="1"> <tr><td>生徒</td><td>92.0%</td><td>△</td><td>93.3%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>94.7%</td><td>△</td><td>92.5%</td></tr> <tr><td>教師</td><td>96.9%</td><td>△</td><td>100.0%</td></tr> </table> <p>あまり食べない、全く食べない生徒が30名おり、昨年度よりも増加している。ごはんなどの主食には脳のエネルギー源になるブドウ糖が多く含まれているので、朝食を摂ることにより脳と身体をしっかりと目覚めさせることができる。また、勉強等に集中できるようにもなるとも言われている。今後も、朝食を摂ることの大切さを生徒に伝え、給食日より保健だよりでも保護者へ啓発し、朝食摂取率100%を目指したい。</p> <p><b>【次年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き声かけをする。</li> <li>・早起きを心掛けさせる。</li> <li>・一口でも朝食を食べるように声掛けする。</li> <li>・習慣作りをする。</li> <li>・保護者への啓発。</li> </ul>  | 生徒     | 92.0% | △ | 93.3% | 保護者 | 94.7% | △ | 92.5% | 教師 | 96.9%  | △ | 100.0% |
| 生徒   | 92.0%   | △   | 93.3%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 保護者  | 94.7%   | △   | 92.5%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 教師   | 96.9%   | △   | 100.0% |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| <p><b>12 生活習慣(食生活)</b></p> <p><b>生徒</b> 私は好き嫌いなく食べることができる。</p> <p><b>保護者</b> 子どもは主食、主菜、副菜をまじえて食べるなど、望ましい食習慣を身に付けている。</p> <p><b>教職員</b> 教職員は、主食、主菜、副菜をまじえて食べるなど、望ましい食習慣を身に付くよう指導している。</p> <p><b>【目標指数】</b><br/>           生徒 80%<br/>           保護者 80%<br/>           教師 90%</p>                 | <p><b>【本年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いなく食べるように声かけをする。</li> <li>・生産者の方の声を聞かせる。</li> </ul> <p>・調理員さんに感謝する会を3学年全てで行う。<br/>         ・食料に困っている国の映像を見せる。</p> <p style="text-align: center;">等</p> | <p><b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b></p> <table border="1"> <tr><td>生徒</td><td>77.9%</td><td>△</td><td>74.2%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>82.5%</td><td>△</td><td>78.2%</td></tr> <tr><td>教師</td><td>90.6%</td><td>△</td><td>94.4%</td></tr> </table> <p>86名(21%)の生徒が、嫌いなものは食べていない傾向にある。しかし、評価の数値は昨年よりも向上している。今後も嫌いな物でも少しは食べるといったことを、各家庭と連携して進めていければと考える。また、給食日より等で生徒や保護者への啓発を続けていきたい。</p> <p><b>【次年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いなく食べるように声かけをする。</li> <li>・生産者の方の声を聞かせる。</li> <li>・調理員さんに感謝する会を3学年全てで行う。</li> <li>・生徒に苦手な野菜を克服する料理を考えさせ、給食に出す。</li> </ul>   | 生徒     | 77.9% | △ | 74.2% | 保護者 | 82.5% | △ | 78.2% | 教師 | 90.6%  | △ | 94.4%  |
| 生徒   | 77.9%   | △   | 74.2%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 保護者  | 82.5%   | △   | 78.2%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 教師   | 90.6%   | △   | 94.4%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| <p><b>13 部活動</b></p> <p><b>生徒</b> 私は部活動(文化系も含む)に一生懸命取り組んでいる(取り組めた)。</p> <p><b>保護者</b> 学校は部活動の指導を一生懸命に取り組んでいる。</p> <p><b>教職員</b> 教職員は、部活動の指導を一生懸命にやっている。</p> <p><b>【目標指数】</b><br/>           生徒 90%<br/>           保護者 90%<br/>           教師 90%</p>  | <p><b>【本年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの先生の手引きの内容を、改善・充実し、職員間で共有しながら「居がいのある学級」作りを行う。</li> <li>・当番制によるHPの充実。</li> </ul> <p>・継続的に休んでいる生徒への声かけをする。</p> <p style="text-align: center;">等</p>       | <p><b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b></p> <table border="1"> <tr><td>生徒</td><td>92.0%</td><td>△</td><td>91.9%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>88.4%</td><td>△</td><td>87.9%</td></tr> <tr><td>教師</td><td>96.9%</td><td>○</td><td>100.0%</td></tr> </table> <p>本校の部活動は、成績だけを求めるのではなく、取り組む姿勢やあいさつなどの礼儀についても指導している。このことは、「芳賀中プライド」と称され、今年も教職員研修等で確認をした。評価の値は昨年度ほぼ同様である。今年度も、多くの部活動で優秀な結果を残すことができた。今後も保護者の皆様の物心両面に渡る支えの中、顧問と生徒が工夫しながら活動し、生徒の成長を促していきたい。</p> <p><b>【次年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの先生の手引きの内容を、改善・充実し、職員間で共有しながら「居がいのある学級」作りを行う。</li> <li>・HPに情報提供の充実。</li> </ul>  | 生徒     | 92.0% | △ | 91.9% | 保護者 | 88.4% | △ | 87.9% | 教師 | 96.9%  | ○ | 100.0% |
| 生徒   | 92.0%   | △   | 91.9%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 保護者  | 88.4%   | △   | 87.9%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 教師   | 96.9%   | ○   | 100.0% |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| <p><b>14 安心な学校生活</b></p> <p><b>生徒</b> 私は学校生活が楽しい。</p> <p><b>保護者</b> 子どもを学校に安心して預けられる。</p> <p><b>教職員</b> 教職員は、信頼される学校づくりに努力している。</p> <p><b>【目標指数】</b><br/>           生徒 85%<br/>           保護者 90%<br/>           教師 100%</p>   | <p><b>【本年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有化と、初期対応の体制強化をしていく。</li> <li>・業務の精選により、生徒に関わる時間を増やし未然防止を図る。</li> </ul> <p style="text-align: center;">等</p>   | <p><b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b></p> <table border="1"> <tr><td>生徒</td><td>86.6%</td><td>△</td><td>84.3%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>95.0%</td><td>○</td><td>92.8%</td></tr> <tr><td>教師</td><td>100.0%</td><td>○</td><td>100.0%</td></tr> </table> <p>昨年度より減少したが、31名の生徒が、否定的な回答をしていることを重要な課題と捉えている。教師は、全ての生徒にとって、居がいのある、楽しいといえる学校・学級づくりに取り組んでいかなければならないと考えている。そうすることが生徒の学力や体力の向上につながり、保護者の皆様からの信頼を得ることにつながる。今後一層努力していく必要がある。</p> <p><b>【次年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有化と、初期対応の体制強化をしていく。</li> <li>・業務の精選により、生徒に関わる時間を増やし未然防止を図る。</li> <li>・全学年で、問題行動への対応を共通理解し、指導に当たる。</li> <li>・いじめアンケートを継続して行う。</li> </ul>   | 生徒     | 86.6% | △ | 84.3% | 保護者 | 95.0% | ○ | 92.8% | 教師 | 100.0% | ○ | 100.0% |
| 生徒   | 86.6%   | △   | 84.3%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 保護者  | 95.0%   | ○   | 92.8%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 教師   | 100.0%  | ○   | 100.0% |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| <p><b>15 いじめ対応</b></p> <p><b>生徒</b> 私はみんなが安心して気持ちよく生活できるように行動している。</p> <p><b>保護者</b> 学校はいじめが起こらないように、また、起こったときにはすぐ解決するように取り組んでいる。</p> <p><b>教職員</b> 教職員は、いじめが起こらないように、また、起こったときにはすぐに解決するように取り組んでいる。</p> <p><b>【目標指数】</b><br/>           生徒 90%<br/>           保護者 75%<br/>           教師 100%</p> | <p><b>【本年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有化と、初期対応の体制強化をしていく。</li> <li>・業務の精選により、生徒に関わる時間を増やし未然防止を図る。</li> </ul> <p style="text-align: center;">等</p>   | <p><b>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</b></p> <table border="1"> <tr><td>生徒</td><td>88.8%</td><td>△</td><td>86.0%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>73.8%</td><td>△</td><td>73.0%</td></tr> <tr><td>教師</td><td>100.0%</td><td>○</td><td>100.0%</td></tr> </table> <p>本校のホームページには、いじめ防止基本方針が掲載しており、「いじめをおこなさい」「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢で取り組んでいる。「生徒居るところに教師あり」を実践し、生徒指導部会や学年主任会を毎週開催し、生徒の情報を共有している。生徒には、いじめアンケートや教育相談を毎学期実施している。また、学習とも関連付け、「学業指導」を通して、いじめのない学級作りを行っている。今後も、様々な工夫を凝らしながら居がいのある学級・学年・学校づくりに取り組みたい。</p> <p><b>【次年度の具体策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有化と、初期対応の体制強化をしていく。</li> <li>・業務の精選により、生徒に関わる時間を増やし未然防止を図る。</li> <li>・全学年で、問題行動への対応を共通理解し、指導に当たる。</li> <li>・いじめアンケートを継続して行う。</li> </ul> | 生徒     | 88.8% | △ | 86.0% | 保護者 | 73.8% | △ | 73.0% | 教師 | 100.0% | ○ | 100.0% |
| 生徒   | 88.8%   | △   | 86.0%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 保護者  | 73.8%   | △   | 73.0%  |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |
| 教師   | 100.0%  | ○   | 100.0% |       |   |       |     |       |   |       |    |        |   |        |

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| プロジェクト<br>生き方   | <b>16 基本的生活習慣</b>                           | 【本年度の具体策】   | 【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】  |
|   | 生徒 私は「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣が身に付いている。      | ・生活習慣を、生徒会や委員会の活動のもと、全学年、全クラスに同一歩調で身に付けさせる。   | 生徒 92.3% ○ 85.4%<br>保護者 88.1% ○ 89.6%<br>教師 93.8% × 97.3%  |
|   | 保護者 学校は「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣の定着を図っている。   | ・あいさつ運動の、内容の工夫改善を図っていく。(各クラスごとなど)   | 時間に関しては、概ね守って生活できていると考える。また、あいさつに関しては、個人により課題が残る結果となっている。整理整頓についても、継続的に指導が必要だと考えている。今後も、地域や家庭と連携し、芳賀中の伝統としていけるように改善していきたい。 |
|   | 教職員 教職員は、「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣の定着を図っている。 |   |  |
|   | 【目標指数】                                      | 等   | 【次年度の具体策】  |
|   | 生徒 80%<br>保護者 85%<br>教師 100%                |   | ・生活習慣を、生徒会や委員会の活動のもと、全学年、全クラスに同一歩調で身に付けさせる。<br>・あいさつ運動の、内容の工夫改善を図っていく。(各クラスごとなど)   |
|   | <b>17 地域貢献活動</b>                            | 【本年度の具体策】   | 【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】  |
| 生徒 私は地域行事に参加したり、地域の方にあいさつしたり、地域や他の人のためになる行動がとれている。                | ・コミュニティスクールの実践に合わせて、学校支援ボランティアの活動を充実させる。    | 生徒 78.4% ○ 69.5%<br>保護者 82.8% △ 78.2%<br>教師 90.6% × 97.3%   |  |
| 保護者 学校は子どもが地域行事に参加したり、地域の方にあいさつをしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるように指導している。  | ・町と協力してジュニアボランティアの活動を、充実を図る。                | 学校支援ボランティアの活動については、少しずつ協力を得ることができ実践できるようになった。また、アート部や委員会での活動で、校外へ出る機会も昨年度より増えてきている。しかし、まだ生徒が進んで計画をし、進んで地域に出て行って活動するまでには至っていないので、今後もジュニアボランティア活動等の参加の意義や重要性を知らせ、募集や参加しやすい体制を検討し、地域と共に生徒を育てていきたいと考えている。     |  |
| 教職員 教職員は、生徒が地域行事に参加したり、地域の方にあいさつをしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるように指導している。 | ・地域での活動の際に、中学生らしい行動が取れるように指導する。             |   |  |
|   | 【目標指数】                                      | 等   | 【次年度の具体策】  |
|   | 生徒 70%<br>保護者 80%<br>教師 95%                 |   | ・コミュニティスクールの実践に合わせて、学校支援ボランティアの活動を充実させる。<br>・町と協力してジュニアボランティアの活動を、充実を図る。<br>・地域での活動の際に、中学生らしい行動が取れるように指導する。                |
|   | <b>18 夢の達成</b>                              | 【本年度の具体策】   | 【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】  |
| 生徒 私は夢や目標をもち、その達成のためにがんばっている。                                     | ・系統立てた進路指導の充実を図る。(学校行事と関連させる)               | 生徒 76.9% △ 59.9%<br>保護者 81.5% △ 74.1%<br>教師 100.0% ○ 97.2%  |  |
| 保護者 学校は子どもが夢や目標をもち、その達成のためにがんばるように指導している。                         | ・教育相談の充実を図る。                                | 今年度は、「目標」という文言を付け加え、生徒の評価も17ポイント上がっている。マイ・チャレンジや立志の船、幼稚園訪問も、例年同様に実施することができた。進学などの進路指導だけではなく、キャリア教育を充実し、自分の将来について系統立てて、考えさせたい。今後も、将来について考え、夢や目標に向かって一生懸命に努力できるように支援を続けていきたい。また、保護者や地域との連携も深め、教育効果を高めていきたい。 |  |
| 教職員 教職員は、生徒が夢や目標をもち、その達成のためにがんばるように指導している。                        |   |   |  |
|   | 【目標指数】                                      | 等   | 【次年度の具体策】  |
|   | 生徒 75%<br>保護者 80%<br>教師 100%                |   | ・系統立てた進路指導の充実を図る。(学校行事と関連させる)<br>・教育相談の充実を図る。  |

## 8 学校関係者評価のまとめ

評価(4:そう思う 3:ややそう思う 2:あまり思わない 1:思わない)

|   | 評価事項  | 評価(人) |   |   |   | 意見等の自由記述欄   |
|---|---|-------|---|---|---|---|
|   |   | 4     | 3 | 2 | 1 |   |
| 1 | 学校は、学校関係者評価委員(学校運営協議会委員)との間で、十分な意見交換や対話を行い、学校の状況について相互の共通理解を深めるよう留意しましたか。                         | 4     | 1 |   |   | ・学校運営協議会や分科会で貴重な意見交換の機会を設けていただき感謝しております。今後とも学校の現場で生徒の皆さんの様子が分かるような形で相互に理解を深めていきたいと思えます。 |
| 2 | 学校は、安心・安全な学校づくりに努めていますか。  | 5     |   |   |   | ・青パト関係、防犯マップ、早めに取りかかりたいですね。   |
| 3 | 学校は、地域と連携・協働し、地域から愛され、地域に貢献できる学校づくりに努めていますか。  | 5     |   |   |   | ・学校が地域貢献活動を重視しているのは理解できました。地域の方々にも学校の取組を周知し、学校との協働について関心を高めていく必要があると考えます。               |
| 4 | 学校は、学校経営の方針を「本年度の努力点」に反映して教育活動を実施しましたか。   | 4     | 1 |   |   |   |
| 5 | 児童・生徒、保護者による学校評価アンケートの「評価項目」や教職員による自己評価の「評価項目」は適切ですか。<br>(「本年度の努力点」の実施状況が把握できるようアンケートが構成されていますか。) | 3     | 1 |   |   | ・表現方法の改善が見られ、回答しやすく、また、生徒が自信をもてるような問いに変更されたことは大変良い。自己肯定感UPにつながる。                        |
| 6 | 保護者アンケート結果に対する学校の考察と改善策や学校の自己評価における考察と改善策は適切ですか。  | 2     | 3 |   |   | ・学力に関する評価は、保護者と教師の評価の差が大きいのがみられます。個別最適な学びやICT機器の活用など新たな取組についても理解を求めていく必要があると思われま。       |
| 7 | 学校の自己評価における達成状況は適切ですか。  | 3     | 2 |   |   |   |

|    |   |   |   |  |   |
|----|---|---|---|--|---|
| 8  | 学校は、自己評価並びにそれを踏まえた今後の改善方策について、広く保護者に公表していますか。 | 3 | 2 |  | ・公表はしていると思いますが保護者が理解しているかが重要なことだと思いますので、その工夫が必要なのでは。  |
| 9  | 学校は、全ての教育活動を通して、学校教育目標の実現に努めていますか。            | 4 | 1 |  |   |
| 10 | 学校は『芳賀町こども憲章』の達成状況を自己評価にて把握していますか。            |   |   |  |   |
|    | ①『やりぬく心』<br>将来の夢や目標に向かって学び、努力します              | 4 | 1 |  | ・同じ授業を繰り返すことで授業内容の精度を上げるなど先生の学び合いが感じられるなど努力されていると感じました。   |
|    | ②『元気なあいさつ』<br>心を込めてあいさつし、地域の人を笑顔にします          | 3 | 2 |  | ・挨拶は、先に口を開いた側に相当の勇気がいる。地域の協力と理解を得て町全体で取り組むべき。<br>・地域の方へのあいさつは「道徳的実践力」に基づくものでもありますが、「地域貢献活動」を進めて地域の方と顔見知りになることでより実践できるようになると思います。<br>・あいさつについては、求めるだけでなく、地域の大人もあいさつを返してもらえなくても積極的に続けていく努力が必要だと感じています。  |
|    | ③『正しい習慣』<br>体と心をきたえ、健康に過ごします                  | 3 | 2 |  | ・HP(学年毎)に掲載されており、家庭の理解を求めやすく工夫されている。<br>・朝食を食べない生徒が30名いるのが気になります。生徒だけなのか、親が朝食をとらないので家庭で習慣化しているのか、あるいは経済的な理由があるのかなど、その背景も把握する必要があるのではないかと思います。<br>・生活習慣については、家庭が絡んでくるので学校としても悩ましい問題だと思います。学校からの働きかけで生徒が自ら朝パン一枚でも食べてみようかと思うと家庭も変わってくると思うので、がんばって指導を続けてください。「朝ご飯を食べる効能について」どんなお話だったのでしょうか。興味あります。<br>・苦手な野菜を克服する料理を考える取組は、食だけではなくこれから生きていくうえで苦手な事柄に出会ったときに役に立つ考え方なので身に付けてもらいたいと思います。 |
|    | ④『思いやりの気持ち』<br>命の大切さを理解し、いじめを許さず、友情を育みます      | 3 | 2 |  | ・体育祭・文化発表会とも、先生の熱い想いを拝見できて、生徒に伝播している。見ている側もとても気分良い。<br>・「いじめ対応」で保護者と教師の差が大きいようです。保護者としても関心が高い項目と思われるので、先生方の取組や学校の状況が保護者の方に十分周知され認識を共有の上対応策を検討いただきたいと思っています。<br>・保護者への情報発信についてですが、道徳通信を10月に発行したそうですが、HPの各種便りでUPしていますか。見つかりませんでした。今の保護者は紙ベースよりもスマホの方が見るかもしれない。ぜひ活用してください。   |
|    | ⑤『誇れるふるさと』<br>美しい自然と良き文化を大切にします               | 4 | 1 |  | ・町の伝統や自然、文化、産業、政治、自治体や民間団体による社会活動状況などについても幅広く町について学ぶ機会があるとよいと思います。  |

11 今回の学校関係者評価から、次年度(令和6年度)の学校経営方針に対するご意見やご提言があったら自由にご記入ください。

- ・2/15分科会での校長先生からの話、委員会からの発案からの地域協力・協働活動に期待しております。
- ・学校支援ボランティア活動でも、遠慮なく、どのような関わり求めておられるのかお伝えいただければ期待に応えるように、わくわくしながら協力させていただきますので、何なりとお申し付けください。
- ・先生方の笑顔や楽しそうにしている姿が生徒に伝わり、学校が楽しいところとなると思います。安心・安全な場所＝学校 地域・家庭の力を巻き込んで町全体での取組を求めて共に頑張ってください。
- ・早寝早起き23時就寝、6時30分起床は、習いごとのない日でも難しい地域がある。八ツ木地区だと、部活動の夏の時間によっては、帰宅が20時ごろになる。部活も終了時刻とあるが、実際に下校は15分後ぐらいなので、夏の下校時刻を見直した方が良い。(祖母井地区と比べ家に居る時間が1時間半ぐらい違う。)
- ・スクールバスにしたほうがよいと思う。
- ・学力の向上を図るため更なるICTの活用が図られると思いますが、過度の使用による身体への影響やAIへの依存などにも十分配慮いただきたいと思っています。
- ・自転車の乗り方についてですが、中学校から離れるほど危ない乗り方になっています。北方面しか分かりませんが、並進とか、横断歩道も自転車に乗ったままとかが多く見られます。交通教育指導員さん、交通指導員さん、スクールガードリーダーさんに感謝する会などの時に、家に着くまで気を付けることなどお話ししていただきたいです。
- ・ブログ、いつも拝見しています。毎日更新しているなんて頭が下がる思いです。生徒たちの様子がうかがい知れたり、先生も時々写ってたりして、親近感を感じます。ぜひ続けてください。
- ・全体的にとってもきめ細かい指導がされていると感じています。ありがとうございます。

## 9 学校関係者評価を受けて

・本年度は、新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、保護者の観覧の制限もなしにして学校行事を開催してきました。保護者の皆様には、好評をいただいております。来年度も生徒の様子を保護者に直に見ていただく機会を作り、さらに、学校だよりや学年だより、保健だより、給食だより等のお便りの内容を精査し、ホームページによる情報発信についても定期的に実施していく予定です。

・生徒の安全安心については、学校として町内の危険箇所を明確に分かるようにすること、子ども110番の家の確認、また交通安全教室だけではなく、防犯教室を実施いたしました。自己防衛をどうしたらよいかを知る良い機会となりました。また、長期休業中の見回りに関しても、お店や公園などの非行防止の見回りではなく、安全な登下校を見守る体制へ変更し、生徒の安全な登下校の確保に努めました。

・生徒、保護者、教職員のアンケートで、教職員の評価に対して、生徒、保護者の値が低い項目があるので、今年度の反省を生かして少しでも来年度数値が向上するようにしたいと考えています。特に、学力向上に関しては、改善に努めた結果、向上が見られた項目もありましたが、今後も教員の意識改革、授業改革に努めていき、主体的に学べる生徒となるようにしたいと思います。また、ICT関係では、家庭でのタブレットPCの有効活用ができるように検討していきたいと思っています。

・保護者、地域の協力を得てアルミ缶を回収し、プロジェクトH2024の花火を打ち上げることができ、生徒・保護者・地域から好評を得ることができました。今年は、地域の老人ホームの入所者を招待し、地域との関わりを増やしました。また、委員会活動でも、地域に貢献できるような取組が行われました。ふるさとを愛する生徒(本校の使命)達成に向けて、今後もさらに連携を深めていき、各種委員会活動の計画立案なども含め、生徒が地域に出て行く機会が増えるようにしていきたいと思っています。

・いじめ対策や「学校が楽しい」などの否定的な意見に対しては、生徒に寄り添いながら、学校・学年・学級の行事等の実施、教育相談活動の充実などに引き続き取り組んでいきたいと思っています。

・今後も、教育目標実現のため、知・徳・体のバランスのとれた芳賀町に誇りを持ち、明日の芳賀町を担う生徒の育成を目指し、全職員で取り組んでまいります。